



DRIVE THE CHANGE

プレスリリース

2013年12月13日
同日情報掲載解禁

第8回大阪モーターショー ルノー・ジャポンブース ルノー新デザイン戦略「サイクル・オブ・ライフ」をテーマに7台を展示

ルノー・ジャポン株式会社(所在地:神奈川県横浜市、代表取締役社長:大極 司)は、第8回大阪モーターショー ルノーブースの展示テーマを、ルノーの新しいデザイン戦略「サイクル・オブ・ライフ」とし、コンセプトカーの「デジール」、発売前の新型車「ルノー キャプチャー」、**「新型ルノー ルーテシア」**を始めとする、6車種7台を展示します。

ルノーの新デザイン戦略「サイクル・オブ・ライフ」をテーマとする展示の中心となるのは、ルノーの新デザイン戦略に沿ってデザインされた初のコンセプトカーで LOVE(恋に落ちる)がテーマの「デジール」です。

この「デジール」と同じテーマでデザインされた市販モデルの「**新型ルノー ルーテシア**」、そして「EXPLOR(出会った二人が冒険の旅に出る)」がテーマの、新型車「ルノー キャプチャー」といった新型車が、ブースを彩ります。「ルノー キャプチャー」は、第43回東京モーターショー2013で、ジャパンプレミアとして公開された、発売前の新型車です。

ルノー・ジャポンブース出展車概要

1、デジール【ジャパンプレミア/コンセプトカー】

ルノーの新しいデザイン戦略「サイクル・オブ・ライフ」に沿った、初のコンセプトカーです。「サイクル・オブ・ライフ」は、人が中心となるデザイン戦略で、人生を6つのステージに分け、それぞれのステージに合ったモデルをデザインし提供することで、ユーザーとブランドの結びつきを深めることを目指すものです。

デジールは、その第一番目のステージである「LOVE(恋に落ちる)」がテーマのコンセプトカーです。曲線で構成された力強く官能的なデザインは人の体や筋肉を思わせ、深い赤のボディカラーは情熱を表しています。

デジールは、前後重量配分を考慮したミッド・リアの位置に搭載したモーターで走行する電気自動車です。バッテリーは、シート背後に搭載された24kwのリチウムイオン電池で、航続距離は160kmです。

2、ルノー キャプチャー【ジャパンプレミア/参考出品】

ルノー キャプチャーは、ルノーの新デザイン戦略「サイクル・オブ・ライフ」の第二番目のステージである「EXPLORE(冒険の旅に出る)」がテーマの、コンパクトクロスオーバーです。

ルノー・キャプチャーは、同名のコンセプトカー「キャプチャー」から、インスピレーションを受けたモデルです。スポーティーで楽しいこのクロスオーバーのコンセプトカーは、「出会った二人が世界を旅する」ためのモデルです。このコンセプトカーから生まれた市販モデル「ルノー キャプチャー」は、同じデザインチーム、同じスタジオで作られました。

第8回大阪モーターショーに参考出品車として展示されるルノー キャプチャーは、2014年2月27日(木)の発売を予定しています。また、この発売に先立ち、2014年1月31日(金)から予約注文を受け付ける予定です。

3、新型ルノー ルーテシア

4代目となる新型ルノー ルーテシアは、全てがルノーの新デザイン戦略「サイクル・オブ・ライフ」のもとでデザインされた、初めての市販車です。コンセプトカー「デジール」そのままの情熱的なデザイン、2.0Lエンジンに匹敵する性能を発揮する新開発の1.2L直噴ターボエンジンと、2組のクラッチシステムによりエンジンからの出力をスムーズかつ効率良く伝えるエフィシエントデュアルクラッチ(EDC)の組み合わせによる爽快な走りが特徴です。

新型ルノー ルーテシアは、7色のボディカラーと内装カラー、ホイールカラーを組み合わせた「パック・クルール」(インテンスのみ対象/一部注文生産車)や、内装パーツセットの「パック・デザイン」(全グレード対象/ディーラーオプション)によって、自分だけの1台をデザインすることができます。

新型ルノー ルーテシアには、装備の違いにより、インテンス、ゼン、アクティブの3つのグレードが設定されています。

第8回大阪モーターショーに展示されるのは、新型ルノー ルーテシア インテンスです。

4、新型ルーテシア ルノー・スポール

新型ルーテシア ルノー・スポールは、シンプルでありながら温かく官能的なデザインに、F1を始めとするレースで培われたノウハウを取り入れルノー・スポールが開発した200馬力を発生する1.6L直噴ターボエンジンと、レスポンスが良く効率に優れた6速エフィシエントデュアルクラッチ(EDC)トランスミッションを採用した、本格スポーツモデルです。

新型ルーテシア ルノー・スポールには、シャシー スポールとシャシー カップの2種類のシャシーが用意されています。シャシー スポールは、日常の使い勝手とスポーツ性能を高い次元でバランスさせたシャシーで、シャシー カップは、シャシー スポールに対し車高を3mm下げ、スプリングレートを前27%、後20%高めてあり、本格スポーツ性能に対応します。

第8回大阪モーターショーに展示されるのは、新型ルーテシア ルノー・スポール シャシー カップです。

5、新型ルノー カングー

ルノー カングーは、広い室内空間と高い機能性から、欧州ではLUDOSPACE(ルドスパス:遊びの空間)と呼ばれて親しまれてきました。随所に散りばめられた遊び心のあるデザインや、機能的で使い勝手に優れたユーティリティ、広くて高い開放的な室内空間、大容量のラゲッジスペースなど、ルノー カングーには、「見て」「乗って」「使って」楽しい、たくさんの工夫が凝らされています。

新型ルノー カングーは、ルノーの新デザイン戦略に沿って、フロントデザインが一新されました。新しいフロントデザインは、新型ルノー ルーテシアと同じく大きく角度を立てて取り付けられたルノーロゴとそこからヘッドライトまで繋がるブラックグリルバー、そしてブラックのアクセントが際立つ新デザインのアーモンド形ヘッドランプにより、生き生きとした新しい表情を新型ルノーカングーに与えています。

モデルラインアップは、標準グレードのゼンと、仕事や遊びでの使い勝手を高めたアクティブの、2グレードとなりました。

ゼンは、ボディ同色フロント/リアバンパーで、ボディカラーは3色の新色を含む9色のバリエーションが用意されます。また、3トーンファブリックシート、オートランプ/オートワイパー、オートエアコンなど充実の装備が採用されています。アクティブは、ブラックフロント/リアバンパー、ブラックドアハンドル、ブラックリアコンビランプガーニッシュ、ダークカーボンファブリックシートなどにより、内外装ともシンプルで引き締まった印象です。また、装備もシンプルなものとする事で、仕事や遊びに使いやすい仕様になっています。

第8回大阪モーターショーに展示されるのは、ルノー カングー ゼンです。

6、メガーヌ ルノー・スポール

メガーヌ ルノー・スポールは、F1 を頂点とする、ルノーの長年に渡るモータースポーツへの取り組みの中で培われたノウハウを多く取り入れて造り上げられた、レーシングカー直系のスポーツモデルです。最高出力 265ps、最大トルク 360N・m の強力なエンジンのパワーを余すことなく路面に伝え、思いのままのドライビングを楽しむことができるシャシーは、本格的なスポーツ走行にも対応するシャシー カップを採用しています。

エクステリアは、シックで流れるようなボディラインが際立つクーペスタイルに、スポーツモデルに求められる幅広で低く構えたフォルム、ボリューム感溢れるフェンダー、そしてエアロダイナミックなパーツによって、スポーツ性能の高さをアピールしています。

第 8 回大阪モーターショーに参考出品車として展示されるルノー キャプチャーは、2014 年 2 月 27 日(木)の発売を予定しています。また、この発売に先立ち、2014 年 1 月 31 日(金)から予約注文を受け付ける予定です。

第 8 回大阪モーターショーに出展する車両の画像は、下記サイトにあります。

URL : http://www2.renault.jp/motorshow_presskit/index.html

ID : renault_japon

PW : TMS2013RJ

有効期限 : 2013/12/31(火)

会期中の取材のお申込み、取材に関するお問い合わせは、別添大阪モーターショー案内をご覧ください。

本件に関するお客様お問い合わせ先:

ルノーコール: 0120-676-365 (受付時間 9:00~18:00、年中無休)

ルノー・ジャポン HP: <http://www.renault.jp>

本件に関する報道関係者お問い合わせ先:

ルノー・ジャポン商品、広報グループ Tel: 045-523-5473 e-mail: wataru.sato@mail.nissan.co.jp

ルノー・ジャポン プレスサイト: <http://press.renault.jp/> (プレスサイトのご利用希望は広報グループまで)